

研究タイトル: Game Sense アプローチを用いたスポーツキャンプの実施



氏名:	小泉 卓也	E-mail:	koizumi@ube-k.ac.jp
職名:	講師	学位:	修士(体育科学)
所属学会・協会:	日本体育学会、日本コーチング学会		
キーワード:	コーチング、コーチ教育		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・質的研究 ・Game Sense アプローチ 		

研究内容:

本研究は、Game Sense アプローチによるスポーツキャンプを実施し、キャンプへの満足度について調査した。キャンプは2日間実施し、6才~12才の男女48名が参加した。実施内容は①コーディネーション系、②インベーションゲーム系、③ネット・ウォールゲーム系の3系統であった。実施内容はビデオカメラ2台を用いて全て録画した。また、コーチの発話は、ワイヤレスマイクロフォンを用いて全て録音した。記録した映像、発話からより良いGame Sense アプローチに関する考察を行った。さらに、キャンプ終了後、参加者とその保護者に対し、キャンプへの満足度調査を行った。その結果、参加者からは「疲れた」や「面白くない」という意見は全くなく、98%の参加者が「楽しかった」と回答した。また、「キャンプはいかかでしたか?」という問いに対し、92.3%の保護者が「良かった」と回答した。このような結果から、従来の「カリキュラム」スタイルのコーチング法とは質を異にするGame Sense であるが、その可能性の広がりを示唆する結果となった。

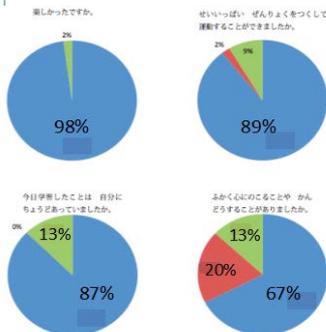


図1

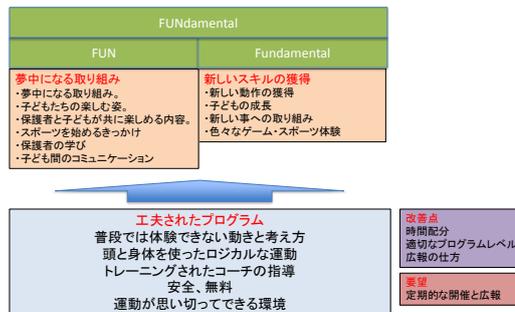


図2

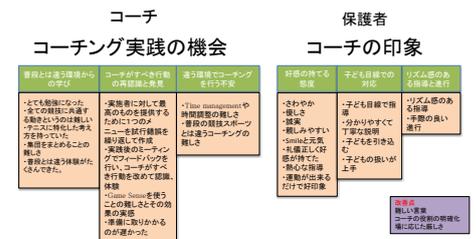


図3

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	